

# かんたんセットアップガイド

セットアップを始める前に

⇒ 解説書の「構成部品リスト」と、「安全にご使用いただくために」をご覧ください。

本紙に記載されていない次のような内容は、解説書をご覧ください。

- 製品構成品のリスト
- 安全にお使いいただくために
- 設置方法

機器の配線/設置/据付工事は、各省庁および自治体の定める法律/法令に従って実施してください。

## 1. 用意するもの

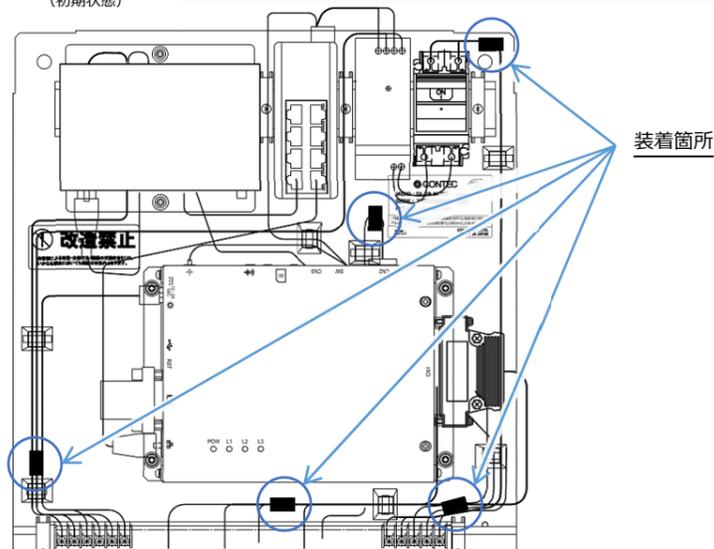
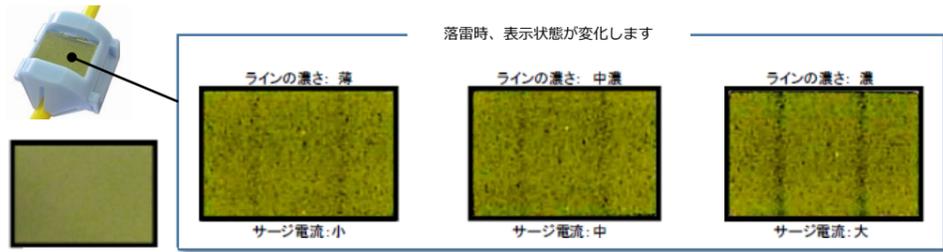
本製品を設定するためには、以下の機材をご用意いただく必要があります。

- Windows パソコン x1
- LAN ケーブル x1 (製品添付)
- パソコン接続ケーブル (適合線材 AWG28-16)  
→ 「配線業者様へ」 (商品添付)
- 電源ケーブル…片側 3P プラグ、片側切り落とし仕様  
→ AC100V のとき … PSE 規格適合品、定格 7A-125V を満たすこと  
→ AC200V のとき … PSE 規格適合品、定格 10A-250V を満たすこと

## 2. 配線工事における注意

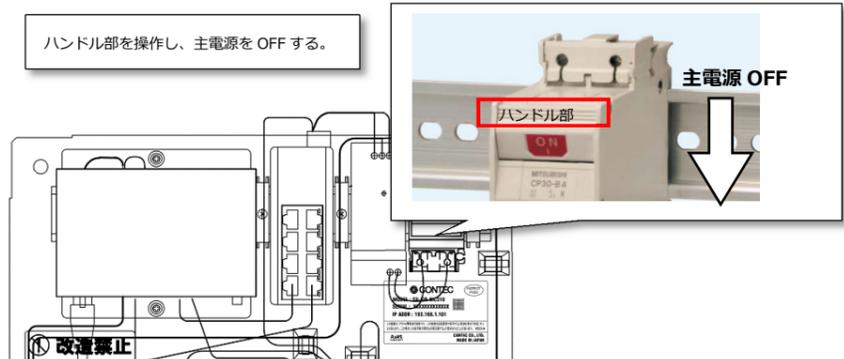
取り付け/設置作業では、マグネット工具は使用しないでください。(サージ検出装置が誤動作する場合があります)  
配線作業を行うときは、本体の主電源が OFF になっていることを確認し、安全に作業を行ってください。

初期状態から変化が見られる場合は、サージ電流による機器の故障が考えられます。  
当社ソリューションサポートセンターへご連絡ください。



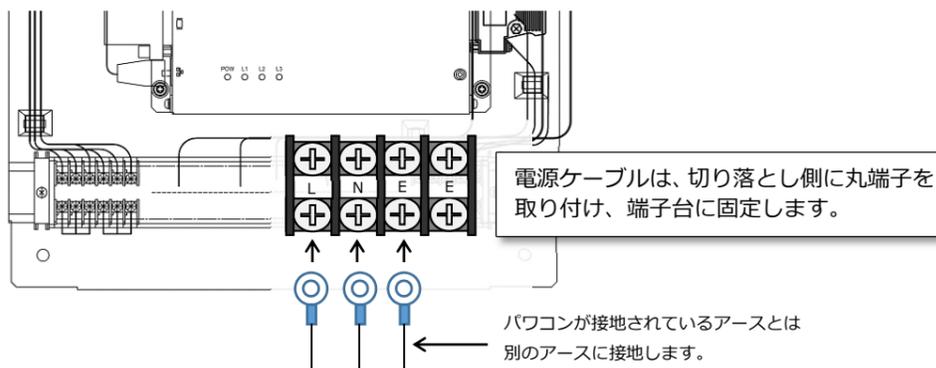
## 3. 主電源の操作

電源スイッチは、制御盤の右上部に設置されています。ハンドル部を上下することで、電源 ON/OFF の操作を行います。設置/配線工事を行うときは、必ず主電源が OFF であることを確認して行ってください。また、電源を ON する前に、一次側の AC 入力電圧 (端子台: L, N 端子間) が仕様を満たすことを確認してください。※仕様を超える電圧を印加すると、故障の原因になります。



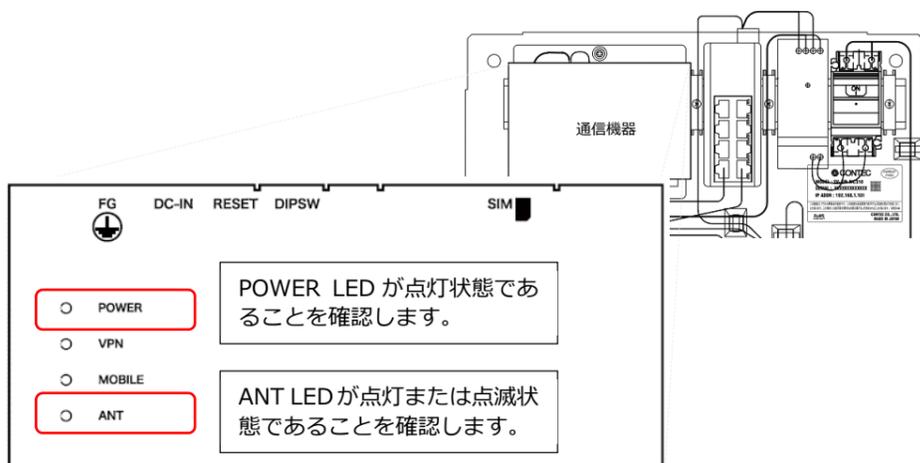
## 4. 電源ケーブルを接続する

**警告** 配線作業時は、本体の主電源が OFF になっていることを必ず確認してください。



## 5. 電波状況を確認する

本体の主電源を ON にしてください。1~2分程度待ってから、本体内の通信機器の LED 状態を確認してください。



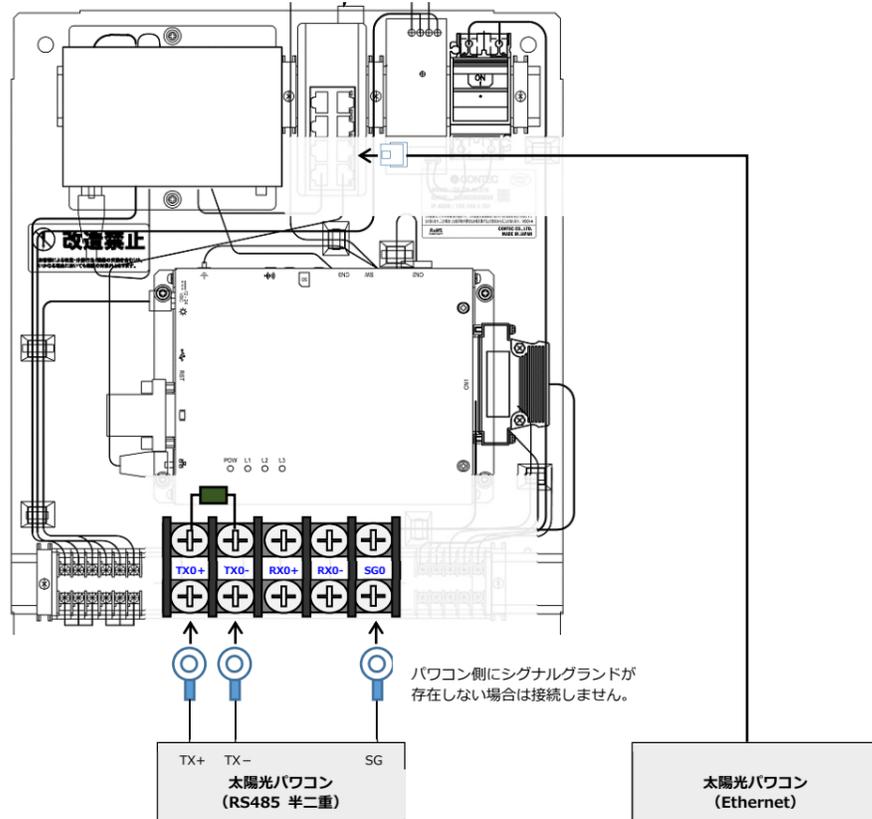
通信機器の【ANT】LED が消灯状態のときは、通信圏外であることを示しています。  
**通信圏外の場合は、本製品は使用いただけません。**

## 6. パソコンと接続する

**警告** 配線作業時は、本体の主電源が OFF になっていることを必ず確認してください。

パソコンには、RS-485 接続を行うものと、Ethernet 接続を行うものがあります。接続機器の通信仕様にあわせて適切に接続してください。

- ✓ RS-485 接続を行う場合は、端子台部 (TX0+, TX0-, SG0) に通信ケーブルを接続します。  
※パソコン側にシグナルグラウンド (SG) が存在しない場合は、シグナルグラウンド (SG0) 端子は未接続にします。
- ✓ Ethernet 接続を行う場合は、HUB の空きポートに通信ケーブルを接続します。  
※パソコン接続数が HUB の接続可能ポート数の最大を超える場合は、お客様にて HUB をご用意ください。

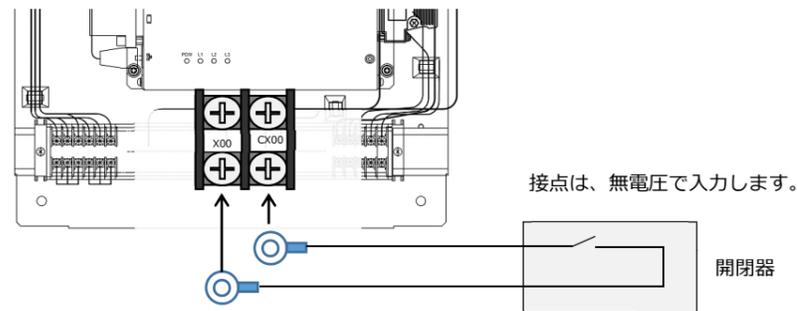


## 7. 接点信号を接続する

**警告** 配線作業時は、本体の主電源が OFF になっていることを必ず確認してください。

発電設備から接点情報を入力することができます。以下に「開閉器」の状態を取得する場合の接続例を示します。

(接続端子 : X00, CX00~X03, CX03)



※ 接点信号を接続しない場合は、次へ進んでください。

## 8. 日射計/気温計を接続する

**警告** 配線作業時は、本体の主電源が OFF になっていることを必ず確認してください。

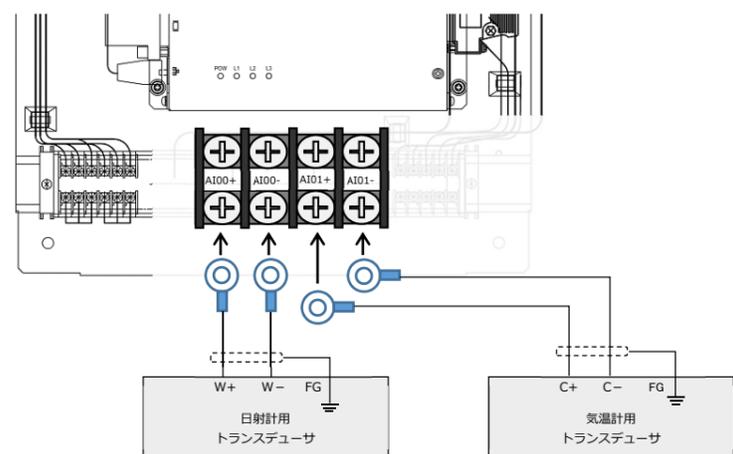
本製品は、気象信号（日射/気温）が接続されたトランスデューサを接続することができます。本体の端子台部に、トランスデューサからの接続ケーブルを接続します。本体の主電源が ON になっている場合は、主電源を OFF してから作業を行ってください。

※ パワコン経由で計測する場合は、この配線工事は不要です。

接続ケーブルのシールド線は、トランスデューサのシグナルグラウンドに接続します。トランスデューサ側の端子名称は機器によって異なりますので、トランスデューサの解説書をよく読んで適切に接続してください。

【日射計の場合】(接続端子 : AI00+, AI00-)

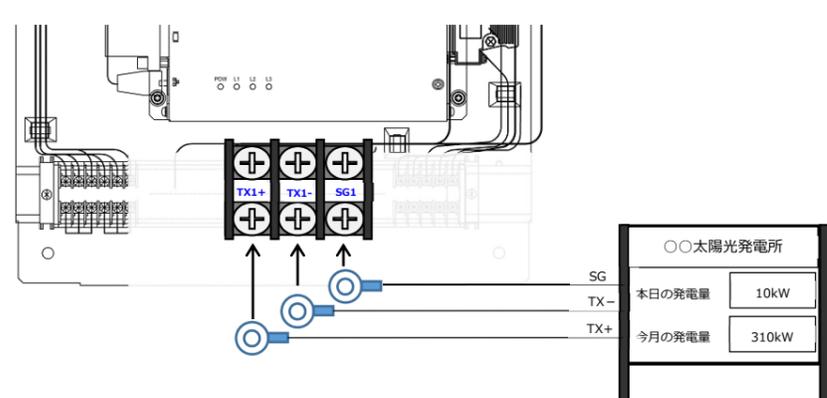
【気温計の場合】(接続端子 : AI010+, AI01-)



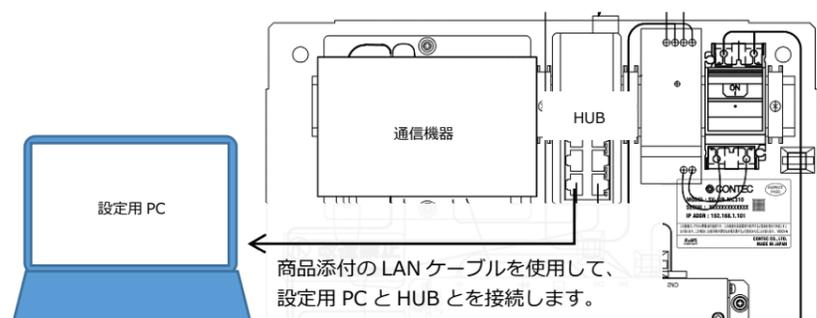
## 9. LED 表示盤を接続する

下図を参考に、本体の端子台部に通信ケーブルを接続してください。相手側にシグナルグラウンド(SG)が存在しない場合は、シグナルグラウンド(SG1)端子は未接続にしてください。

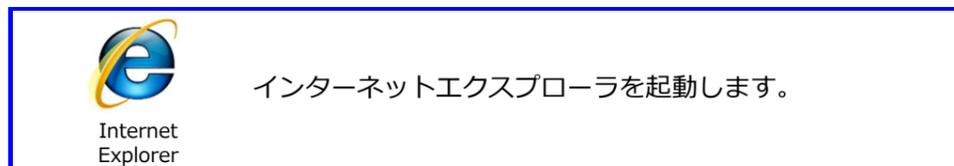
(端子台 : TX1+, TX1-, SG1)



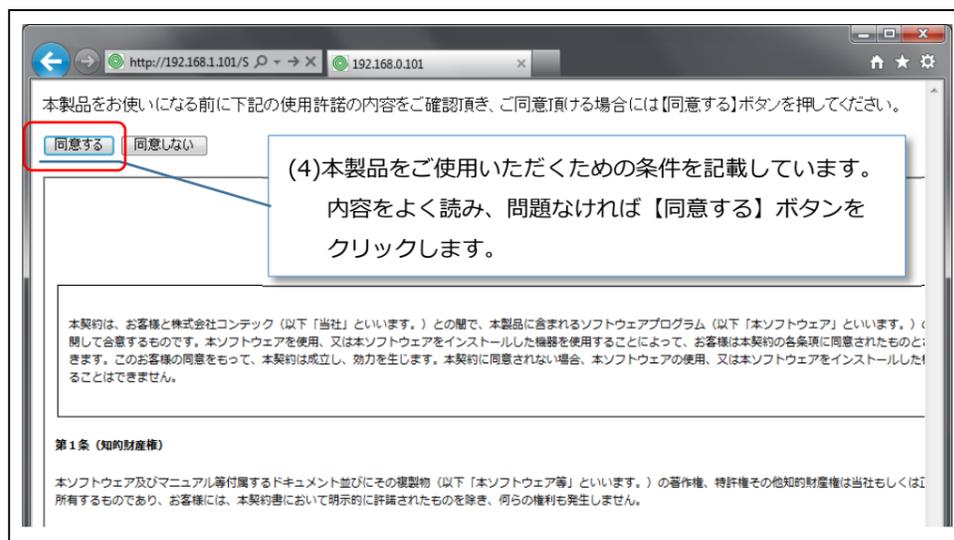
## 10. 設定用パソコンを接続する



## 11. 設定画面を開く



画面が表示されない場合は、別添「Windows 設定方法」をご確認ください。



使用条件に許諾できない場合は、【同意しない】ボタンをクリックします。お買い求めの販売店に連絡し、返品の手続きを行ってください。



いよいよ計測/監視設定を行います。必要な情報を準備してください。

太陽光発電設備の詳細情報について再度ご確認ください。

- ・ パワコンのメーカー
- ・ パワコンの機種
- ・ パワコンの設置台数
- ・ 各パワコンの局番
- ・ トランスデューサのレンジ設定（日射、気温データを取り込む場合）

# 12. パワコンを設定する

以下に示す手順に従って、パワコンの設定を行ってください。

**パワコン設定**

シリアルポート	設定
シリアルポート1	デモ パワコン1 [機種:10kW 局番:1] 異常詳細 パワコン2 [機種:10kW 局番:2] 異常詳細 パワコン3 [機種:10kW 局番:3] 異常詳細 パワコン4 [機種:10kW 局番:4] 異常詳細 パワコン5 [機種:10kW 局番:5] 異常詳細 パワコン6 [機種:10kW 局番:6] 異常詳細 パワコン7 [機種:10kW 局番:7] 異常詳細 パワコン8 [機種:10kW 局番:8] 異常詳細 パワコン9 [機種:10kW 局番:9] 異常詳細
シリアルポート2	LED表示盤

(1) クリック

↓

**パワコン設定(シリアルポート1)**

パワコン設定トップ

(2) パワコンのメーカーを選択します。  
※本書ではデモを選択

製造元: デモ

No.	機種	局番	積算電力量設定(kWh)			
			時	今日	今月	今年
1	未使用	1	0	0	0	0
2	未使用	2	0	0	0	0

**パワコン設定(シリアルポート1)**

パワコンの製造元を変更しました  
設定を更新しました  
変更反映させるにはサービス設定からサービスを起動してください

パワコン設定トップ

製造元: デモ

(6) クリック

No.	機種	局番	積算電力量設定(kWh)			
			時	今日	今月	今年
1	未使用	1	0	0	0	0
2	未使用	2	0	0	0	0
3	未使用	3	0	0	0	0
4	未使用	4	0	0	0	0
5	未使用	5	0	0	0	0

(3) パワコン機種と局番を選択します。

※パワコン経由で計測する場合  
(4) トランスデューサの設定を入力します。

【日射強度のレンジ設定】 1Vの時: \* kW/m<sup>2</sup> 5Vの時: \* kW/m<sup>2</sup>  
 【気温のレンジ設定】 1Vの時: \* °C 5Vの時: \* °C

保存

(5) クリックして保存

【LAN パワコンとの接続について】  
SolarView 本体は、192.168.1.101、192.168.1.1 を使用しています。  
上記以外の IP アドレスを、パワコン側 IP アドレスとして適切に設定してください。  
例) 1 台目の LAN パワコン: 192.168.1.201  
2 台目の LAN パワコン: 192.168.1.202

# 13. アナログ計測を設定する

本章の説明は、気象信号(日射/気温)を端子台から計測する場合にのみ必要な設定です。パワコン経由で計測する場合は、前章「パワコンを設定する」を参照してください。

**サービス設定**

サービス 停止中 起動 停止

(1) サービスが【停止中】であることを確認します。  
【起動中】の場合は、【停止】ボタンをクリックしてサービスを停止します。

(2) アナログ入力を選択します。

(3) クリックして保存

更新

↓

Web ページからのメッセージ

定格/テーマ/フォント/環境計測設定変更時は処理に15秒程度かかります。

(4) クリック

OK

↓

**基本設定**

名称: SVC

定格発電電力(合計): 30 kW

環境計測設定: 日射・気温の取込み元: アナログ入力

管理者のメールアドレス: svb@localdomain

メール送信: パワコン異常時: 無効

テーマ: 学生2(小学)

フォント: ゴシック

(5) クリック

※アナログ入力を指定した時のみ表示されます

↓

**アナログ入力設定**

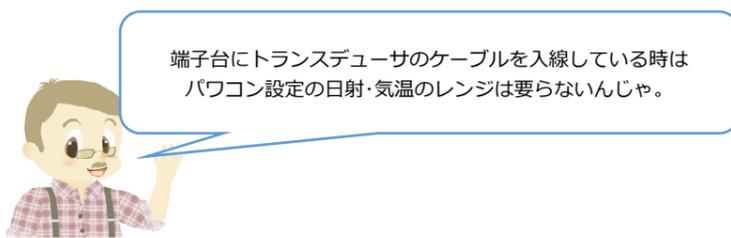
サービス設定トップ

Ch	信号名称	1V(4mA)の時の値	5V(20mA)の時の値
0	日射強度(kW/m <sup>2</sup> )	0	1.43
1	気温(°C)	-20	100

(6) トランスデューサの設定を入力します。

更新

(7) クリックして保存



# 14. 接点監視を設定する

本章の説明は、発電設備からの接点出力を取得する場合にのみ必要な設定です。

(1) サービスが【停止中】であることを確認します。【起動中】の場合は、【停止】ボタンをクリックしてサービスを停止します。

(2) クリック

[詳細設定]

(3) クリック

接点監視設定

(4) 接点名称、履歴保存の有無、メール通知有無を設定します。

各設定には以下が対応しています。  
 接点 1・・・端子台 X00  
 接点 2・・・端子台 X01  
 接点 3・・・端子台 X02  
 接点 4・・・端子台 X03

(5) クリックして保存

# 15. 計測/監視を始める

(1) パワコンの出力定格(kW)の合計値を入力します。例) 10kW を 3 台計測する時は、30 を入力

(2) クリックして保存

(3) クリック

(4) クリック

設定を更新しました

サービス 停止中 起動 (停止)

(5) サービスを開始します。設定は完了していますか？ ※起動には[OK]ボタンを押してから数秒かかります

OK キャンセル

(6) サービス状態が【起動中】になったことを確認します。

設定を更新しました

サービス 起動中 起動 (停止)

監視点数が4点を超える場合は、【一括】で取得できるように配線できないか、工事屋さんに相談するといいわね





# 19. クラウド認証情報を取得する

# 付録：完了チェックリスト



## サービス設定

サービス **起動中** [起動] [停止]

名称	SVC
定格発電電力(合計)	30 kW
環境計測設定	日射・気温の取込み元: アナログ入力 / アナログ入力
管理者のメールアドレス	yoko_chan@solarview.jp
メール送信	パワコン異常時: 無効 / パワコン通信異常時: 無効
スライドショー	テーマ: 学生2(小学校高学年から) / フォント: ゴシック
ディスプレイとの接続	TV接続(DVI+HDMI変換)

クリックすると、認証情報を指定アドレスに送信します。



ようこそ SolarView-Air 太陽光発電計測システムへ！

SolarView-Air (SV-AIR-MC310) をご購入頂きありがとうございます。

はじめに本製品をご利用頂くにあたりユーザー登録を行ってください。ユーザー登録の詳細につきましては本体添付書類を参照ください。

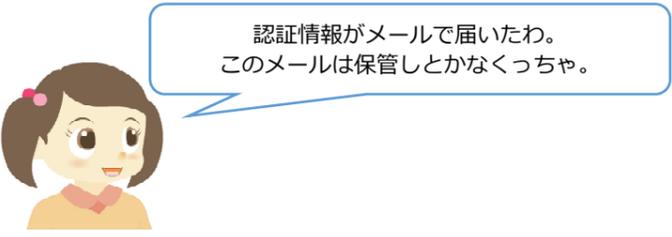
続いて SolarView-Air サービスをご利用頂くにあたり下記サイトから機器の登録作業を行ってください。

アクセス先：https://xxxxx.solarview.jp  
 サイトコード：xxxxxxxx  
 パスワード：xxxxxxxxxx

本製品を複数ご利用頂く場合には下記サイトからマルチアカウントの登録を行ってください。

アクセス先：https://xxxxx.solarview.jp  
 サイトコード：xxxxxxx  
 パスワード：xxxxxxxxxx

※マルチアカウントのグループ登録が完了すると上記のサイトコードで複数のサイトを一括表示できます。



メールに記載されているアクセス先を指定して Enter キーを入力します。



太陽光発電計測システム

# SolarView

SolarView Air

メールに記載されているサイトコードとパスワードを入力してから、Login をクリックしてください。

サイトコード

パスワード

Login

Copyright(C) CONTEC.CO.,LTD. All rights reserved.

ログイン後は、画面に表示に従って登録を完了してください。

### ■ 確認項目

項目	確認結果
本製品のパワコン設定で、サポートしているパワコンであることを確認した。	OK NG
通信機器の LED を確認し、電波強度が良好であることを確認した。 (LED の確認方法は、本製品の解説書を参照してください)	OK NG
太陽光パネルの裏側など、直射日光があたらない場所に設置されていることを確認した。	OK NG
据付場所は塩害地域でないことを確認した。	OK NG
本製品の主電源を ON する前に、供給電圧はテスタを使用して AC100V であることを確認した。	OK NG
本製品のアースがパワコンのアースと分離されていることを確認した。	OK NG
本製品が RS-485 通信上の終端に接続されていることを確認した。 (終端でない場合：計測コントローラの終端抵抗を取り除くこと。)	OK NG
RS-485 通信ケーブルはツイストペアケーブルを使用して適切に加工/接続してあることを確認した。	OK NG
日射計、気温計の計測レンジを確認し、本製品に正しく登録した。 注意) パワコン経由での計測と、アナログ計測とでは画面が異なります。	OK NG
パワコン異常時のメール通知を設定したか。	有 無
パワコン通信異常時のメール通知を設定したか	有 無
発電設備の状態監視 (接点入力) のメール通知を設定したか	有 無
定時メールの送信条件を設定したか	無効 時
パワコンとの通信において、通信異常がないことを確認した。	OK NG
コンテックへのユーザー登録を完了したか ※製品を次年度以降も継続して使用していただくために登録が必要です	済 未

## 株式会社コンテック

制定：2014年12月  
改定：2015年12月

サポート窓口：ソリューションサポートセンター  
 TEL：06-6477-4985 (ダイヤルイン) FAX：06-6477-8913  
 受付：当社営業日 9:30-12:00, 13:00-17:00  
 Email：ssc@contec.jp  
 ホームページ：http://www.contec.co.jp/solar

本製品および本書は著作権法によって保護されています。無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

Copyright© 2015, CONTEC CO., LTD. All Rights Reserved.

NA03922/LYSG183 [120412015]